

東北支援・里山整備を重点に グループわ 第9回定期総会を開催

グループ〈わ〉の第9回定期総会は5月17日、カレッジホールで開かれ、23年度の事業報告と24年度の事業計画を承認。西田圭一理事長ら新役員を選任して24年度の活動がスタートしました。功労会員の表彰式も行われ、会員1人と3グループが受賞。午後の東北支援活動報告会では、講演と記録ビデオの上映がありました（表彰式の詳細は6面に。東北報告会の模様は5面にあります）。（広報・南形徹）

総会は芳賀順子さん（福10）の司会で午前10時開会。物故者へ黙祷をささげたあと、西田理事長が「今年は会員が180人も増え、1254人となった。活動の輪をより広げたい」と挨拶。来賓の南本伸一・福祉振興協会常務理事は「協会のイベントへの協力に感謝している。幅広い東北支援活動には敬意を表したい」と祝辞を述べ、今井鎮雄学長からは「超高齢化社会を迎え、元気な老人はどういう役割を果たすべきかが問題になっている。KSCの皆さんの実践は、

一つの実験として大きな意義を持っている」とメッセージが寄せられました。

次いで、議長に土井昭政さん（国10）を選出。「出席者155、委任状653、計808で定足数617を上回っており、総会は成立」と宣して議事を開始。西田理事長が「23年度は東北支援やパソコン教室など新しい事業を始めたので、収支は若干の赤字（約50万円）になった。理事手当を半減するなど、来期も運営改善に努める」と会計内容を説明。23年度の事業報告、決算報告が拍手で承認されました。

続いて新役員17人（別表）を拍手で承認。西田理事長が「今期も子どもたちを対象にした事業を進める。①東北支援活動 ②花実の森での自然学習 ③人材支援センター（長田区）でのパソコン講座——の3つを柱に、積極的に取り組む」と3期目の決意を述べました。24年度の事業計画、事業予算を原案通り拍手で承認して11時に議事を終了。引き続き、部会長・区会長・環境未来館・一の谷プラザ責任者・



シンボル旗の下で行われた総会

【24年度の新役員】

理事長	西田圭一（生9）＝（西）
副理事長	岸本 清（生14）＝事業（須磨）
副理事長	堺 汎（園15）＝財務（西）
理事	南形 徹（生14）＝広報（北）
理事	蘆田義和（生15）＝総務（北）
理事	納村裕子（生15）＝事業（北）
理事	井上千加子（園15）＝総務（須磨）
理事	木田育義（生16）新＝事業（北）
理事	北浦俊明（生16）新＝財務（西）
理事	小畑浩昭（国16）新＝総務（北）
理事	西山久雄（園16）新＝広報（兵庫）
理事	井口久美子（福16）新＝事業（長田）
理事	菅田忠志（生11）非常勤（須磨）
理事	林田周治（生14）非常勤（須磨）
理事	海野龍英（食16）非常勤（垂水）
理事	長谷川博（生9）非常勤＝東灘区会長
理事	小林精一（福9）非常勤＝文化部会長
監事	長谷川洸士（国11） 監事 藤田忠之（福13）

【区会長】

東灘＝長谷川博（生9）
灘＝木下完治（食10）
兵庫＝大掛敏夫（生7）
長田＝藤田忠之（福13）
垂水＝池田惇（生15）

【部会長】

福祉＝加藤勇治（美10）
国際＝柳川瀬享一（国13）
文化＝小林精一（福9）
▽環境未来館責任者＝涌井岑治（生9）
▽須磨一ノ谷プラザ責任者＝藤田忠之（福13）
▽学習支援委員会委員長＝加藤勇治（美10）

学習支援委員長に選出された12人（別表）が紹介されました。

功労賞の表彰式のあと、昼食休憩をはさんで12時40分から東北支援報告会。西区竹の台小・西馬和男校長の講演と第1次・第2次派遣チームの記録ビデオを上映。最後にKSC男声合唱団40人によるコンサートで締めくくり、14時20分散会しました。



会員増を生かす方策を

【視点】16期の新会員が160人と大幅に増え、組織全体では1270人を超えた。うれしい話だ。“若い力”を活用した新しい事業を展開する好機ともいえよう。一方、わずかながら23年度の収支は赤字になった。〈わ〉の予算規模約3900万円からすれば少額だが、東北支援活動と人材支援センター（二葉小跡）で始めたパソコン講座の初期投資が響いた。未来館と本部理事の手当・交通費を削減してのやりくりが続く。収支構造は変わらず、2つの電話相談と未来館などの委託事業収入が8割弱を占め、残る2割強を助成金と年会費（180万円）で補う形になっている。

3期目になる西田執行部は、東北支援の継続と花実の森の整備、パソコン講座を3本柱にかかげ事業活動を進めることになった。いずれも助成金がらみの事業だが、助成対象外の出費もある。学習支援など交通費支給の幅を広げたほか、経費のかかる事業も多い。未来館は、環境学習など入館者増加対策の成果が上がりつつあり、収支がやや改善した。〈わ〉がスタートして9年目。団塊世代を意識した新しい事業ビジョンを構築する時期に入ったといえよう。（M）

縁の下の力持ちに 新理事の抱負

◆西山久雄 KSCを卒業し、路頭に迷っていたところ、〈わ〉にスカウトされました。声の大きいことしか取り柄のない私ですが、これも何かの縁と思い、みなさんのお役に立てるよう縁の下の力持ちとして邁進していきます。当面はホームページの更新を進めたいと考えますので、会員みなさま方のご支援をお願いします。

◆海野龍英 東日本大震災プロジェクトの担当になりました。第3次チームを7月に派遣するので、〈わ〉本部に入って、3か月で全ての準備を完了しなければならず、まさに時間との戦いの最中にある。プロジェクトを進めるのに欠かせない人間関係も、〈わ〉の内外で構築しながら対応していかねばならず、ついこの前

までのグループ学習の時代が無性に懐かしい。

◆井口久美子 「卒業後はボランティア活動を」と思い、わ本部へ。久方振りに、錆びた頭をフル回転させながら、仕事を覚えているところです。思いはそれぞれ違っても、和で結ばれた会員の輪がより大きくなることを願って、一步・一步着実に、

そして息長く活動していきたいと思っています。

◆小畑浩昭 「わ」の活動は何となくわかっていると思っていた。実際に中に入ってみると、会員数も多く、部会活動・区会活動等社会還元のための活動分野の幅広さに驚いている。“再び学んで他のために”のカレッジ精神が生かされ、社会の要請に応える組織への発展のために、少しでもお役にたてれば幸いです。

◆木田育義 在学中グループ学習のテーマに「しあわせの村」を選び、卒業後も「しあわせの村」と何らかの関わりを持ちたいと思っておりましたところ、先輩諸兄のご推薦があり、本部の事業担当を仰せつかりました。諸先輩方のご指導を得、子供たちの笑顔あふれるイベントを目指し活動をしたいと思っております。

◆北浦俊明 この度、〈わ〉にお世話になることになりました。在学中は「わ」の存在を知りながらも、活動には余り参加してきませんでした。ケナフの活動を少しやった程度です。〈わ〉の活動を知るにつけ、大変幅広くたくさんの方が参加されているのを知りました。これから、少しでもお役に立てるよう頑張ってみますので、よろしくをお願いします。

＝写真は物故者に黙祷をささげる総会参加者

（写真 広報・西山久雄）

東北支援の記録ビデオを上映

〈わ〉の総会第2部は東北支援報告会。西田圭一理事長と道満俊徳氏が、1年間の支援活動の概要を説明し、第1次・2次の記録ビデオを上映したあと、西区竹の台小・西馬和男校長が「息の長い交流を目指して」のテーマで講演。阪神大震災の体験から「東日本大震災で何かできないか」との思いから、石巻・東浜小との交流を深め、この3月には仙台と石巻の被災地を訪問した感想を語りました。マイクを握って「♪明日があるさ」の替え歌も披露。〈たった一つのおむすびを 家族で分けて食べたけど 胸がいっぱい 胸がいっぱい 優しさか伝わった〉と歌って会場をじーんとさせました。